

V. 利用

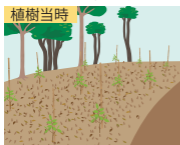
森の成長記録

森はゆっくり変化しますが、写真や記録をとっておけば、森づくりによって森がどう変わったのかがよくわかります。

定点撮影

通常の活動にあわせ、同じ場所、同じアングルで写真を撮影しましょう。苗を植栽した場所では、写真を比べれば苗の成長がはっきりわかります。

森を手入れした場所では、森の中が明るくなったり、ササが減って林床に花が咲いたりして、森に生き物が増えていくことがわかるかもしれません。



植生調査

植生を正しく記録するには専門的な知識が必要ですが、知りたいことに集中して記録をとれば、森の変化がわかりやすくなります。

とった記録を日付順にならべてみると、森では見落としていた意外なことに気づくかもしれません。

項目	記録する内容
樹高を測る	【苗を植えた森】 何本かの苗に印をつけておき、定期的に高さを測ります。活動ごとに決まった苗を囲んで記念撮影をするのもよいでしょう。
	【手入れした森】 何本かの自然に生えたコナラ等の幼木に印をつけておき、定期的に高さを測ります。
植物の種数を数える	一定範囲を決めて、葉の形状等の違いから生育している植物の種数を数えて記録します。名前がわからなくても、種類が増えていることが実感できるでしょう。

伐採木等の利用

伐採した樹木等は有効に活用しましょう。

木工クラフト

森づくりの過程で発生した材料などを使って木工細工を作ってみましょう。



木工細工（生き物）



グルーガン
（樹脂を溶かして
接着する道具）
を使うと簡単に
くっつきます。

和紙と組み
合わせて。



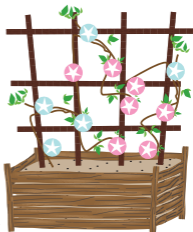
あんどん



落ち葉でコラージュ

画用紙の上に
葉っぱで絵を
描こう。

家庭での
ガーデニングに。



プランター&トレリス

V

利用

伐採木を利用した道の整備

活動地内での作業を行いやすくするため、必要に応じて作業道を作ることできます。

●階段・木柵

伐採した樹木を丸太として加工し、登りやすいように階段を整備したり、斜面から作業道内に石や落ち葉が入ってこないように道に木柵を作ると、移動しやすくなります。



V
利用

その他の利用

●樹名板

樹の名前を書いた板を設置しておくことで、森を訪れた人に木の種類を伝えることができます。

固定するときには
針金や釘を使わずに、
樹皮を傷つけないよう
工夫しましょう。



●植栽の支柱

苗木の植栽にも利用できます。

(P19「IV作業 植栽 植え方」参照)